

TSUKUSHI

Committee Report

委員会の1年を振り返る

つくしJC



2025
NO.64



Member's Voice

未来へつながる私たちの一歩

責任とやりがいを実感！



(有)お石茶屋
古川 真也

副理事長として二つの委員会を担当し、事業を支える立場の責任とやりがいを強く実感した一年でした。地域の未来を描くまちづくり推進委員会と、その価値を広げるつくし魅力発信委員会。異なる使命を持つ委員会がそれぞれの力を発揮できるよう、調整し支えることが私の役割でした。委員長とメンバーの挑戦に寄り添いながら、組織として成長していく瞬間を間近で見られたことが、何よりの学びとなりました。

地域のための活動が、自分の力になる



ラクラス
角 光樹

青年会議所では、日常では得られない経験や学びが数多くあります。地域をより良くするために仲間と議論し、行動し、成果を形にしていく中で、自分の考え方やリーダーシップが少しずつ変わっていくのを感じました。同世代の仲間と切磋琢磨しながら成長できるこの環境は、かけがえのない財産です。「自分をもっと成長させたい」と思う方にこそ、ぜひ入会してほしいです。

地域の未来に繋がる1年間



日本経済大学
徳重 浩世

ひとづくり推進委員会の広報幹事として、高校生を対象にしたリーダー育成事業に携わりました。彼らの真剣なまなざしや、まっすぐな意見に触れる中で、こちらが学ばされる場面も多くありました。成長していく姿を間近で見守り、それを発信という形で支えられたことは大きな喜びでした。この活動が地域の未来につながると感じられる、充実した一年でした。

会員募集

一般社団法人つくし青年会議所では、5市（筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市）および、その周辺に住所または勤務地を有する、満20歳以上40歳未満までの男女で構成されております。地域の発展を目指し、九州国立博物館の支援活動・運動をはじめ、数々のボランティア活動を行うと共に、メンバーの指導力開発など、様々な手法を勉強することもできます。私たちと一緒に地域のために活動してみませんか。



青年会議所（JC）とは

日本全国666の地域に約26,000人の会員を擁し、『修練』『奉仕』『友情』という三信条のもと、よりよい社会づくりを目指す青年の集まりです。半世紀以上前から時代は変われど『明るい豊かな社会』の実現を目指す指導者たんとする青年団体、それが青年会議所（JC）です。会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、国境を超える交流や地域環境保全など、世界を舞台として様々な活動を展開しています。

《お問い合わせ》

一般社団法人つくし青年会議所

〒818-0058 福岡県筑紫野市湯町3-2-5筑紫野市商工会館内
Tel 092-924-8338 / Fax 092-921-2906
HP <https://tsukushi.or.jp/> / Mail info@tsukushi.or.jp



Greeting!

理事長挨拶



2025年度 一般社団法人つくし青年会議所
第54代理事長 菊地 大介
(株式会社きくち／2016年入会)

【2025年度 スローガン】

未来想造

～「物語」を共に進めよう。～

2 025年度、一般社団法人つくし青年会議所は「未来想造」『物語』を共に進めよう。』というスローガンのもと、地域の未来を見据えた運動を展開してまいりました。社会全体が大きな転換期を迎える中、私たちは筑紫地区という豊かな地域資源を有するこのまちで、持続可能な地域社会の実現に向けて、仲間と共に歩みを進めてまいりました。

本年度も、地域の「まち」「ひと」「しごと」に関わる多様な課題に対し、各委員会がそれぞれの視点から事業を構築、運動を展開してまいりました。まちづくり推進委員会では、那珂川市にて、持続可能なまちづくりに向けて、歴史文化を根底とした「郷土愛」を醸成し、市民全体の共創意識の醸成を図る事業「ながわ百年祭」を開催し、地域の新たな

た。JC活動が個人の人生や社業にどのように結びつくのかを見つめ直し、JAYCEEとしての自覚と誇りを育む1年となりました。

総務・交流推進委員会は、例会を通じて組織の一体感を高めるとともに、厳粛で締めきりある運営を通じて、つくしJCの価値と存在意義を再確認する機会を創出、メンバー間の交流を促進し、組織の活性化に大きく貢献してくれました。

本年の特徴でもある、つくし魅力発信委員会は、私たちの運動や活動を地域内外に広く届けるため、情報発信の強化に取り組みました。SNSや動画、マスメディアを活用し、地域におけるつくしJCの存在感を高めるとともに、組織の魅力を再発見・再発信する役割を果たしました。

出向においても、日本青年会議所本会や福岡ブロック、九州地区協議会へ多くのメンバーを輩出し、それぞれが貴重な経験と人脈を得てLOMに還元してくれました。出向者の活躍は、つくしJCの誇りであり、今後の組織の成長にとって大きな財産となるものです。

魅力を創出し、地域と共に持続可能な経済の活性化を図る取り組みを行いました。

そして、ひとづくり推進委員会では、若者が地域課題に向き合い、行動するための学びと実践の場を提供し、次世代のリーダー育成に力を注ぎました。

さらに、くらしごと推進委員会では、地域企業の持続的な成長と挑戦を支援するため、イノベーションを促すビジネス環境の整備に取り組みました。企業の声を丁寧に取り上げ、行政や団体と連携しながら、地域経済の基盤強化に寄与する事業を展開しました。

また、つくしJC会員育成委員会では、メンバー一人ひとりの成長を促すため、理念への共感と資質向上を目的とした研修事業を実施しまし

このように、2025年度は多くの挑戦と学びに満ちた1年となりました。くらし、くらす人たち、メンバーの物語をより豊かに進めることが出来たと感じております。

そのすべての活動は、地域の皆様、行政、関係団体、そしてメンバーのご家族や企業の皆様のご理解とご支援があつてこそ実現できたものです。心より感謝申し上げます。

2026年度、つくし青年会議所は新たな理事長のもと、これまでの運動をさらに発展させ、地域の未来を創る挑戦を続けてまいります。私たちは、地域の皆様と共に歩み、共に考え、共に創る「共創の歩み」を大切にしながら、明るい豊かな社会の実現に向けて邁進してまいります。

どうか来年度も、つくし青年会議所の活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆様と共に、地域の「物語」をさらに豊かに進めていけることを、心から願っております。

1年間、本当にありがとうございました。



Contents

01 2025年度 理事長挨拶

03 【特集】 TSUKUSHI JC 委員会の1年を振り返る

- まちづくり推進委員会
- ひとづくり推進委員会
- くらしごと推進委員会
- つくしJC会員育成委員会
- 総務交流推進委員会
- つくし魅力発信委員会

13 入ってわかった！ つくしJCの魅力 Q&A

- ・宇都宇宙さん ・岡田佳那美さん
- ・永江卓也さん ・廣末将士さん
- 《10年選手が語る“つくしの魅力”とは？》
- ・草場亮介さん ・波多江祐介さん

16 日本全国、世界へ広がる JCのネットワーク

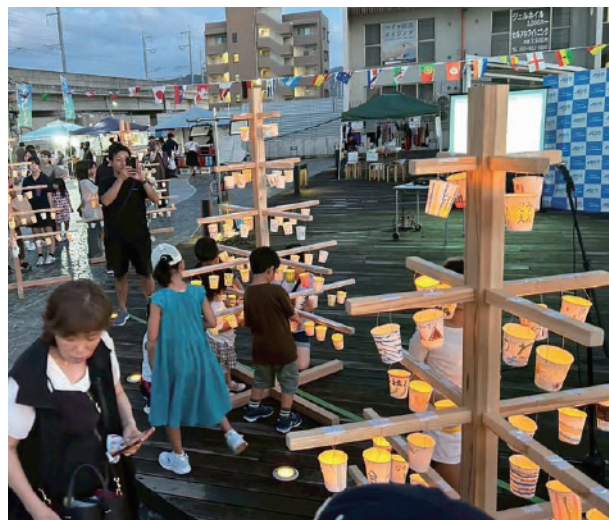
17 つくしJCの魅力って何ですか？

- ・一般社団法人ベンチャー型事業承継
事務局長／山岸勇太氏
- ・BIZ SPEECH代表／小田知美氏
- ・株式会社ホーホウ 取締役／森重裕壽氏
- ・日本経済大学経済学部経済学科教授
地域連携センター長／竹川克幸氏

19 Member's List

22 2026年度 理事長予定者挨拶

みんなで
創った祭り。
那珂川市の未来を
共に創る!



2

ARTIVERSつくし2025

なかがわ百年祭 ～市民が共創する郷土の祭典～

9月6日、博多南駅前公園を舞台に開催された「なかがわ百年祭」は、持続可能な那珂川市の発展に向けて「産学官民の共創」をテーマに、子どもから大人まで、あらゆる主体が参加する「共創の祭典」となりました。願いのランタン、未来の那珂川ジオラマ展示、地元食材を活かした飲食店、福岡女子商業高校キックによるステージ演出など、多彩なコンテンツを通じて、来場者が「まちに関わる楽しさ」を実感。フィナーレでは、産学官民の連携のもと作成された那珂川市PRムービーを野外大画面で上映し、過去から現在へと繋がる那珂川市の魅力を多くの市民と確認し、未来に向けた市民の繋がりと郷土愛を育む「共創の文化」が生まれる場となりました。

子どもたちと
一緒に未来の
那珂川市を
創る!



出前ワークショップ

“まち”を学び、 “未来”を描く子どもたち

那珂川市内の小学生を対象に、まちの歴史と文化を学びながら「未来の那珂川」を創造する巨大ジオラマづくりを実施しました。地域の自然・産業・くらしに触れ、自らの発想で未来をかたちにする体験は、まちへの理解と愛着を深める大きな一歩となりました。青少年が郷土の“過去”と“未来”を自分ごととして繋げる、貴重な学びと創造の時間になりました。



3

10月
100年残す映像制作

協力者Message!



(株) ホーホウ
森重 裕高氏

熱量が導いた最高の共創

委員会の熱量に惹かれ、共に試行錯誤しながら創り上げた時間がとても刺激的でした。特に野外上映を実現する過程では、想いをぶつけ合いながら同じ方向を向き、最高の形を追求できたことが強く印象に残っています。地域を越えて人が集まり、一つの作品を生み出したことに大きな可能性を感じました。

3

100年残す映像制作

那珂川の現在を記録し 未来のまちづくりに活かす 「流るる那珂川」

「流るる那珂川」は、まちの魅力や人々の想いを100年後に伝えるための記録映像制作プロジェクトです。那珂川市の文化や自然、そこに暮らす人々など、まちの記憶をアーカイブ化しました。制作にかかわった方同士の共創意識を高め、今後は広報資源として活用されます。



動画は
こちら

100年後も
愛される地域
のために



2

9月
ARTIVERSつくし
2025

1

2025

7月
出前ワークショップ

まちづくりとは「今を生きる私たち」と「未来を生きる誰か」を繋ぐ、営みだと思っています。今年の委員会活動では子どもたちや市民の皆様とともに「文化を共創する」体験を重ねてきました。そこに笑顔と発見が生まれ、まちへの想いが強くなる瞬間を、何度も目の当たりにしてきました。共創の文化が当たり前になるまちを目指して、これからも挑戦し続けます。

「共創文化が当たり前」に
なるまちを目指して



委員長
味酒 安儀

「市民が主役のまちづくりへー共創の文化を未来へ繋ぐ1年」

まちづくり推進委員会

2

高校生リーダー育成研修

学び・考え・伝える。
高校生が主役の
実践型プログラム

6月から8月にかけて高校生を対象とした合計4回の研修を実施しました。「課題発見」「チームディスカッション」「プレゼン発表」を通して、主体性と協働力を育むプログラムを展開。1回目は「目指すべきリーダー像～自分のことを改めて知ろう～」2回目は「体験学習～筑紫地区の探究～」ということで、歴史的・文化的価値を有する筑紫地区の探究を行いました。高校生たちは、自らの言葉で地域の課題を語り、仲間と共に解決策を導き出す中で、リーダーとしての自覚を深めました。

高校生の
真剣な表情に、
地域の未来が
見えた



1

意見交換会

地域で育てる
次世代の芽

3月から8月にかけて、筑紫地区の県立高校・行政・大学・地域団体などに案内し、合計4回にわたる意見交換会を実施いたしました。県立高校(春日、太宰府、筑紫、筑紫中央、福岡農業、武蔵台)の先生方をはじめ、各市の青少年育成課、日本経済大学、福岡県レクリエーション協会、ちくわ若者会議などが参加。高校生の育成課題や地域連携の在り方を協議し、筑紫地区全体で次世代を支える基盤づくりを進めました。

地域が
一つになり、
次世代育成の
礎を築く



3

8月

LOCAL INNOVATORS
～君のアイデアが地域を変える～

3

2

6月

高校生リーダー育成研修

次代へと
繋がる
“ひとづくり”の
環を未来へ



LOCAL INNOVATORS
～君のアイデアが地域を変える～

高校生による
プレゼン大会を実施

3回の研修を終え、いよいよプレゼン大会です。より良い筑紫地区を生み出すためのイノベーションをテーマに高校生たちがアイデアを出し合いました。後日、研修や意見交換会で得た成果をまとめた報告書を、筑紫地区の高校、行政、大学、地域団体に配布しました。高校生の成長記録や事業の効果、今後の課題を整理し、今後のリーダー育成事業の継続・拡充に向けた基礎資料としています。この取り組みを通じて、“筑紫発の次世代リーダー育成モデル”を地域全体で共有し、持続的な人材育成の輪を広げます。



動画は
こちら

協力者Message!



日本経済大学
教授
竹川 克幸氏

情熱で広がる学びの輪

つくしJCのリーダー育成事業に参加し、委員会メンバーと高校生の情熱に心を動かされました。世代を超えて一体となり学ぶ時間は大きな刺激であり、地域に「人の和」が広がっていく可能性を強く感じました。今後もこの連携が持続し、さらに発展していくことを期待しています。

1

3月

意見交換会

2025

筑

紫地区の未来を支えるのは、地域を愛し、自ら行動する若者たちです。

今年度、私たちひとづくり推進委員会は、行政・高校・大学・地域団体と連携し、高校生を対象とした「リーダー育成研修」および「意見交換会」を実施しました。多様な立場の人々が対話を重ねる中で、地域が一体となって次世代を育てる仕組みづくりの第一歩を踏み出しました。これからも、地域の未来を託せる「ひとづくりの輪」を広げていきます。

「問題解決に向けて主体的に取り組み、周りを巻き込む力」を身に付ける



委員長
岡村 康平

多様な視点が
交わり、
新しい発想が
生まれる



2

アクセラレーションプログラム始動

共創そして実践へ
地域企業の挑戦を加速する
新たな一歩

第1回では、自社の強みや資源を見つめ直し、まだ形になっていない「挑戦の種」を発見する時間となりました。続く第2回では、そのアイデアを仲間や支援者と共有し、意見を交わしながら磨き上げるステップへ。企業同士の学び合いに加え、行政・金融機関・商工会も参加し、「企業の挑戦を支えるために何が必要か」を共に考える場が生まれました。

イノベーションの
火を灯す。
地域が一つに
なった瞬間



都久志会議2025

地域企業が挑戦する意義を知る
“イノベーションの必要性”を共有

筑紫地区の企業・企業団体・行政・金融機関が一堂に集い、社会変化の中で「なぜ地域企業が挑戦すべきか」を問い直す場として「都久志会議2025」を開催しました。第一部では、アトツギベンチャーとして挑戦を続ける若手経営者をゲストに迎え、変革のリアルと原動力を共有。第二部では、地域の多様な主体が登壇し、「挑戦を支える地域の仕組みづくり」についてクロストークを実施。今後の具体的なアクションへとつながる機会となりました。



3

8月 アクセラレーション プログラム終了

3

挑戦を支える地域へ
新たな繋がりが、
挑戦を支えるコミュニティに

第3回では、各企業が自社の未来や挑戦への想いを発表しました。同時に、行政・金融機関・商工会の方々がその姿勢を真摯に受け止め、支える立場として共に歩む意思が示されたことに、大きな意義があります。挑戦できる環境は制度だけでなく、人と人の繋がりが生まれます。この日芽生えた新たな繋がりが、挑戦を支えるコミュニティへと育ち、地域の未来を動かす力になることを願っています。

2

6月 アクセラレーション プログラム開始

挑戦する
コミュニティが、
地域の未来を
動かす。



1

6月 都久志会議2025

2025



委員長
丸山 稜太

変化を恐れず、
挑戦を続ける地域へ

私 たちの暮らしを支える地域企業が、新しい発想で挑戦し続けることこそが、地域経済の持続的な成長に繋がります。今年度、くらしごと推進委員会では、「イノベーション」をキーワードに、行政・企業・金融機関・商工会など多様な主体と連携し、筑紫地区から新たな価値を生み出すための仕組みづくりに取り組みました。地域の人々が共に学び、共に考え、共に挑戦することで、変化を恐れず挑戦できる地域文化の芽が確かに育っています。

「挑戦する企業が地域を変える―都久志から始まるイノベーションの輪」

くらしごと推進委員会

言葉に想いを
込めて、
伝える力を
高める



2

7月事業「伝える力を磨く」

想いを整理し、
相手の心に届く言葉へ

講師にBIZ SPEECH代表・小田知美氏を迎え、言葉の構成と伝え方を学ぶワークショップを実施。自分の体験や想いを整理し、相手に「伝わる形」で表現するスキルを学びました。参加者からは「伝えることが怖くなくなった」「社業にも活かそう」との声が多く寄せられ、JC活動を通じて学びを日常で実践する意欲が高まりました。

理念を学び、
行動の原点を
見つめ直す

1

3月事業「JCの理念と自分を重ねる」

理念を学び、
自らの価値観と結びつける

JCプログラム「VMV」を用いて、JCIの理念や活動の意義を体系的に学びました。グループワークを通して、自分自身の価値観とJCの使命を重ね合わせることで、活動の意味を自らの言葉で理解し、「何のためにJCに関わるのか」を明確にしました。この体験が、主体的に行動する第一歩となりました。



3

10月事業
「共感を生むストーリーLIVE」

3

自らを
語ることで
繋がり、
共感が広がる

2

7月事業
「伝える力を磨く」

1

3月事業
「JCの理念と自分を重ねる」

2025

講師Message!



BIZ SPEECH 代表
小田知美氏

伝える力が未来を拓く

つくしJCの皆さんは一人ひとりの熱量が高く、礼節ある姿勢と強靱な連携力をお持ちです。講座では、皆さんが「伝える力」の重要性に真剣に向き合い、発信への不安が和らぎ、自分の言葉で伝える意欲が高まっていました。この姿勢こそ、未来の地域を動かす力になると確信しています。

10月事業「共感を生むストーリーLIVE」

仲間の物語が心を動かす
“共感のリーダーシップ”を体感

3月・7月の学びを踏まえ、10月事業では現役メンバーが自らの経験を語る「成長ストーリーLIVE」を開催。活動を通じた挑戦や気づきを共有し、仲間の言葉に共感する中で「自分も挑戦したい」という前向きな意欲が生まれました。後半はグループワークを通じて、自分が変化を感じた瞬間をエピソードとともに言葉にし、聞き手の心に届くスピーチへと磨き上げました。想いを言葉に変える力が、つくしJC全体に新たな一体感と前進するエネルギーをもたらしました。



リーダーに求められるのは、情熱だけでなく、それを「伝える力」です。会員育成委員会では、理念を学び、表現を磨き、想いを語る——この3段階を通じて、会員一人ひとりが「心を動かすリーダー」へと成長することを目指しました。仲間の言葉に共感し、互いに温かな連帯感と前向きなエネルギーが生まれました。

言葉が人を動かし、
組織を変える。



委員長
中川路匠

「想いを伝え、共感を生む——繋がりが生まれるリーダー育成の1年」

つくしJC会員育成委員会



5月度例会事業

メンバー全員の
発信スキルを向上

5月例会では株式会社BuzzCreate小屋真伍氏を講師に迎え、広報の基礎からSNS・note・Googleマップ・ChatGPT等を活用した実践的な発信方法を学びました。後半は自社やJC活動を題材に記事作成ワークを行い、明日から使える広報スキルと発信への自信を高める機会となりました。

2

1 魅力発信事業

1年をかけてつくしJCの認知度を向上

つくし魅力発信委員会では、年間を通じてホームページの改修とブログ更新、YouTube・Instagramを中心とした動画発信を強化しました。広報のテーマを「認知・共感・行動」の3段階に整理し、ショート動画や広告運用も組み合わせることで、つくしJCの認知度向上と入会問い合わせ増加につながる発信基盤づくりを進めました。

つくし魅力
発信委員会

「伝える力が未来を変える」

3

1~12月
各事業の発信

2

5月
5月度例会事業

1

1~12月
魅力発信事業

2025

つくしJCの
熱い想いを
伝える

各事業の発信

各委員会の想いを発信

つくし魅力発信委員会では、各委員会が実施する事業の魅力を最大限に伝えるため、企画段階から取材・撮影に入り、事業の目的や背景、担当者の想いを丁寧に発信してきました。ブログ記事・SNS投稿・動画制作を通じて参加者の裾野を広げ、事業当日の熱量を地域へ届けることで、参加意欲の向上とつくしJC全体の認知拡大に寄与しました。

3

講師Message!

(株) BuzzCreate
小屋真伍氏

事業に対する熱い気持ち

講義に入る前に何度も丁寧に打ち合わせを重ね、どうすればより効果的に伝わるのかということを話していました。本当に熱い気持ちを持たれて活動されているのだなと感じました。より多くの方につくしJCの活動が広まることを願っています。

つくし魅力発信委員会は、この一年間「伝える力で未来を変える」を軸に、ホームページ・SNS・動画を通じてつくしJCの魅力を発信してきました。委員会メンバー全員が主体的に動き、多くの挑戦と学びを重ねた一年でした。発信が仲間を繋ぎ、地域を動かす力になることを実感しています。来年度以降もこの流れをさらに加速させていきたいです。

発信が繋ぐ力を信じて、
走り抜けた一年副委員長
久良木 陵太厳粛な
総会運営

1月通常総会

厳粛な総会運営を通じた
組織力の向上

総務・交流推進委員会は、1月通常総会を規律と品格を備えた運営で実施しました。綿密なリハーサルと事前動員により、メンバー全員が役割を理解し、円滑な進行を実現。理事長所信と年間方針の共有を通じて、つくしJCの組織力向上と活動への意欲醸成に寄与しました。

1

総務・交流
推進委員会

「総務が支える、繋がりが広がる一年」



3

1~12月
毎月の例会運営

2

9月
9月度例会事業

1

1月
1月通常総会

2025



2

9月度例会事業

メンバー同士の繋がりを強化した9月例会

9月例会では、委員会を越えた横の繋がりを深めるための参加型交流企画を実施しました。名刺交換ゲームや他己紹介、チーム対抗ワークを通じて、メンバー同士が楽しく関係性を築く機会を創出。普段関わりのないメンバーとの接点が増え、組織全体の一体感とコミュニケーションが大きく向上しました。

繋がりを育んだ
一年間の例会運営

総務・交流推進委員会としての一年は、例会運営を通じて“繋がりを生むJC”を目指し続けた期間でした。名刺交換タイムの導入など地道な改善により、メンバー同士の距離が縮まっていくことを実感しました。支えてくれた委員会メンバーに心より感謝します。この繋がりが今後さらに広がることを願っています。

委員長 山内 健太郎

例会で
交流促進

毎月の例会運営

出席率の向上を
意識した例会運営

総務・交流推進委員会では、1月通常総会・合同例会をはじめ、年間を通じて各例会の会場手配や進行管理を担い、安定した運営体制を整えてきました。名刺交換タイムの導入や座席配置の工夫、例会アンケートを通して、例会出席の意義を高めるとともに、委員会を越えた交流促進と出席率向上に努めました。

3

入ってわかった！

つくしJC の魅力

Q&A

入会して間もないメンバーに
つくしJCの魅力を
聞いてみました。

- Q1 入会理由
- Q2 入会前のイメージと入会後のギャップ
- Q3 今年の活動で印象に残ったこと
- Q4 入会して良かったこと

《入会1年》宇都 宇宙さん

MESSAGE

つくしJCにはいろんな人がいて、一人ではできないような大きなことも力を合わせることで実現できます。

A1 他団体の先輩からの紹介

他の団体の先輩に「社会に関わる活動がしたい」と相談したところつくし青年会議所を紹介していただきました。

A2 本気で取り組んでいる

メンバーのみなさんが地域のこと、まちのことを本気で考えて活動していることに驚きました。

A3 大きなスケールでの活動

5月に開催された講演会で、JCの魅力は大きなスケールで活動できることだと言われ、納得しました。

A4 一人ではできないことができる

つくしJCにはいろんな人がいて、一人ではできないような大きなことも力を合わせることで実現できます。

インタビュー動画
配信中！



大きなスケールでの活動が魅力的

《入会1年》永江 卓也さん

A1 交流会の雰囲気を見て

勤めている会社の上司がもともとつくしJCのメンバーで、その時開催された交流会に参加してその雰囲気を見て入りました。

A2 思ったよりも温かい雰囲気

入会前はとても固いイメージでしたが、実際はお互いに助け合い、成長を応援しあう温かさを感じました。

A3 本気でやっている

全てのことが印象的でしたが、みなさんが本気で取り組んでいるその熱量が特に印象に残っています。

A4 仲間、そして自己成長

大人になって会社外で仲間ができることはあまりないことですが、JCでは多くの仲間ができました。自己成長の場が多いことも入会してよかった点の一つです。

MESSAGE

JCのメンバーは、みんな優しく温かい雰囲気です。仲間づくりに加えて自己成長もできますので、ぜひみなさんも挑戦してみてください。

仲間ができる！自己成長できる！

インタビュー動画
配信中！



《入会1年》廣末 将士さん

MESSAGE

私は誘われてから入会するまで時間がかかりましたが、もっと早く入っておけば良かったなと感じています。少しでも興味を持たれたらまずは仮入会してみることをお勧めします。

A1 高校時代の先輩からの紹介

一緒に卒業しないか、と誘われたのがきっかけです。あの時すぐに入っていればよかったと今は思います。

A2 時間の使い方

仕事が忙しく、JCの活動に参加できるか不安でしたが、今年はしっかり参加できました。卒業した後この空いた時間をどう使うのかを今楽しみにしています。

A3 高校生との関わり

今年のひとづくり推進委員会の事業で高校生を対象とした事業をやりました。高校生の成長を間近で見ることができたのはいい経験でした。

A4 他業種の仲間

他業種の同世代と仲良くなれる機会は普段はあまりないので、そういった人々と仲良くなれて仕事の悩みなどを相談できるようになったのは大きな財産だと思います。

インタビュー動画
配信中！



興味があるなら入会してみて！

《入会1年》岡田 佳那美さん

A1 きっかけは先輩の紹介

職場の先輩からの紹介でした。当時は、詳しいことも分からないまま入会しました。

A2 事業を通じて深まる絆

仲間ができて地域貢献ができる団体だとは聞いていましたが、実際に事業を進めていく中で、より深い人間関係が築かれていくのだと感じました。

A3 高校生の堂々たるプレゼン

入会してすぐに、高校生がプレゼンを行う事業に参加しました。高校生たちがしっかりと内容で発表していて、とても感心しました。

A4 地域に友だちができた

私は筑紫地区出身ではなく知り合いもほとんどいなかったのですが、入会してから同世代の友だちがたくさんできました。

MESSAGE

仕事との両立に悩んだ時期もありましたが、やってみないと分からないことがたくさんあります。迷っている方は、ぜひこの機会に一步踏み出してほしいです。

事業を通して友だちができた

インタビュー動画
配信中！



日本全国、世界へ広がる JCのネットワーク

JC(青年会議所)は、世界に広がるネットワークを持つ団体です。つくしJCからも今年、京都会議、サマーコンファレンス(横浜)、ASPAC(モンゴル・ウランバートル)、そして世界会議(チュニジア・チュニス)など、国内外の大会にメンバーが参加しました。各国の青年リーダーたちと交流し、世界の課題や地域発展の取り組みを学ぶことで、多くの刺激と新たな視点を得ることができました。私たちは、こうした国際的な学びとネットワークを活かし、筑紫地区のまちづくり・ひとづくりに還元してまいります。



世界会議チュニス大会



サマーコンファレンス(横浜市)



ASPAC ウランバートル大会



全国大会佐賀大会



京都会議



すべての大会に参加した
メンバーに聞いた大会の魅力



専務理事
相川 雅俊

JCには、個人の機会、地域の機会、国際の機会、ビジネスの機会という4つの機会があります。各種大会に参加することで、こうした多様な機会や新たな知見を得られるとともに、多くの仲間と交流できることが、大会の大きな魅力だと考えています。全国各地に仲間が増えていく感覚は、本当に特別なものです。JCは「地域の団体」でありながら、「全国・世界へとつながるネットワーク」を築くことができる場です。そのことを実感できるのが、まさに大会参加の一番の魅力だと思います。

《入会10年》草場 亮介さん

JC活動の中で 特に印象に残った出来事は？

私は仕事をほとんど1人でやっていますが、33歳の時にJCの中で初めて委員長という役を受けました。組織の長として取り組むというのが自分にとってとても新鮮な経験でした。

その経験を通して 自分自身に起きた変化は？

委員会には十何人という委員メンバーがいるなかで、みんなそれぞれ意見が違って、考え方も違って、その中で1つのゴールに向かって取り組むっていうことの難しさであったり、面白さであったり、そういったものがすごく勉強になったかなと思います。

やっていて良かったなど 感じた瞬間は？

やっぱり楽しいことばかりではなく、きついこともたくさんありました。そのようなことを一緒に経験してきた人たちがいたからこそ、ビジネスでも、プライベートでも、本当に信頼できる仲間がたくさんできたと思っています。

MESSAGE

今年は副理事長という役職を
させていただきました。
役職ごとで挑戦できる機会というもの
が全然違いますので、やってみようかな、
できそうかなということには
積極的に取り組んでもらうと、きっと
面白いのではないかなと思います。

インタビュー動画
配信中！



10年戦士が語る！

“つくしの
魅力”
とは？

在籍10年を超えるメンバーが
見てきた景色や、つくしJCの
本当の魅力、そして後輩たちへの
メッセージを紹介します。

本当に信頼できる
仲間がたくさんできた



《入会11年》波多江 祐介さん

MESSAGE

決して課題に目を背けずに、
しっかり諦めずに活動していくことが、
地域の皆さん方、私たちのためにも
なると考えております。
ぜひとも諦めずに、仲間を大切に、
これからも活動を頑張っていたきたいと
思っております。

JC活動の中で 特に印象に残った 出来事は？

2018年、つくし未来フォーラム
を担当させていただいた際、筑
紫地区5市で協定書を結ぶとい
うことに初めて挑戦いたしました。
その時に県外のJCにまで相
談させていただき、JCのスケ
ールの大きさを実感しました。

その経験を通して 自分自身に起きた変化は？

決してあきらめないという信念を持つことができました。そのためには賛同を得られるようにしっかりと準備をするということが大事だと感じました。

やっていて良かったなど 感じた瞬間は？

JC活動の中で実は男泣きをしたことがありました。大きな事業をやる際に、本当に睡眠を削ってみんなに手伝っていただきました。委員会の後の懇親会にも参加せずに準備に追われていましたが、その事業が終わった最後の懇親会で、実は裏で私の誕生日を祝っていた準備をしてくださっていました。プレゼントやケーキをいただいたときに、本当に感動して、JCっていいな、仲間っていいなと心から思いました。

インタビュー動画
配信中！



決してあきらめないという
信念を持つことができた



つくしJCの魅力

って何ですか？

What is
the appeal of
TSUKUSHI JC?

今年、つくしJCの活動に関わっていただいた

外部の方にインタビューをさせていただきました。

つくしJCと関わって感じた熱量

つくしJCさんとの関わりは、知人から「那珂川で面白い事業を一緒にやりたい人たちがいる」と紹介されたことがきっかけでした。実際に委員長や委員会みなさんに会うと、その熱量の高さがまっすぐに伝わり、「この人たちとなら本気で取り組める」と感じました。特に印象に残っているのは、動画「流るる那珂川」の野外上映会です。天候や安全性の問題で実現が難航しましたが、委員長が「どうしてもやりたい」と強く想いを示し、それに応えるように関係者全員が最善策を探し続けました。結果、最高の形で上映できたことは大きな手応えでした。つくしJCのみなさんと仕事をして感じたのは、意見をぶつけながらも同じ方向を向き、より良いものをつくらうとする“本気”です。やらされているのではなく、「地域を良くしたい」という純粋な思いが原動力になっている。その姿にとっても刺激を受けました。こんなに多くの人が前向きに地域と関わる団体はなかなかありません。つくしJCが町で活動し続ければ、地域はもっと面白くなる—そう感じた取り組みでした。

筑紫地区に感じた可能性と、つくしJCへの期待

今回、講演会と連続講座の講師として関わる中で感じたのは、筑紫地区の企業のみなさんが、触れるほどに“熱が変わっていく”ということでした。最初はやや受動的な姿勢の方もいましたが、2回目の「事業のつくり方」講座あたりで多くの方にスイッチが入り、目の色が変わり、自分の事業や地域の未来を語り始める瞬間がありました。後継者の事業構想にも世界を狙える可能性を感じ、この地域に大きな希望を抱きました。私が最も大切だと考えるのは「圧倒的当事者意識」です。儲けだけではなく、地域や業界にどう貢献するかを本気で考えられる人が増えるほど、地域は確実に変わっていく。5市を跨ぐつくしJCは、その当事者意識を育てる希少なコミュニティだと思います。また、担当の方の強い想いと準備の丁寧さにも深く心を動かされました。つくしJCには、後継者が地域と繋がり、成長し続けるための大きな役割があります。今後も地域の企業支援・人材育成において重要な存在であり続けると強く感じています。

若者の力と情熱が地域を動かす つくしJCひとづくり事業の可能性

つくしJCひとづくり推進委員会のリーダー育成事業に関わり、第一に感じたのはメンバーの強いパッションです。高校6校とJC、大学が一体となり、一つのチームとして人づくりに挑む姿は、私自身の情熱も呼び起こしてくれました。高校生たちは母校や地域への愛情を土台に、大人では思いつかない柔らかな発想で地域の魅力や課題に向き合い、筑紫地区の可能性を改めて示してくれました。学校が集積し、自然と歴史文化に恵まれた筑紫地区は、まさに“人の和”が生まれるまほろばだと感じています。つくしJCには、現役メンバーだけでなくOBや大学、地域の多様なステークホルダーを巻き込みながら、このリーダー育成事業を「つくし路100km徒歩の旅」などと同じ“継続する名物事業”へ育ててほしいと思います。さらに、この取り組みが若者の地域参画を広げ、未来のまち・ひとづくりを支える原動力になることを期待しています。

伝える力が育む組織の未来

講師として関わり、まず強く感じたのはメンバー一人ひとりのモチベーションと熱量の高さです。個々の意欲が高いからこそ横のつながりが生まれ、その連携力が大きな組織力を支えていると実感しました。講座では情報や熱量をどう伝えるのか、その伝え方の大切さに気付いていただきたと考えておりました。皆さんが「自分史ワーク」に真剣に向き合う姿勢は非常に印象的で、自分自身を見つめ直す場として本気で取れ組まれていることが伝わりました。講座を通じて、皆さんの話すことへの不安が徐々に和らぎ、発信へのハードルが下がっていく様子も見受けられ、今後の活動における大きな成長の兆しを感じています。また、例会における礼儀正しい所作や時間通りの統制ある進行から、組織としての成熟度と結束力を強く感じました。つくしJCで培われた組織力や連帯力が、今後の地域や社業の発展に活かされることを大いに期待しています。



日本経済大学経済学部経済学科教授
地域連携センター長
竹川 克幸 氏



BIZ SPEECH 代表
小田 知美 氏

■つくし魅力発信委員会

役 職	氏 名	勤務先	事業内容
副 委 員 長	三井所 大地	(株)スカイメディカルファーマ	調剤薬局業
副 委 員 長	久良木 陵太	(株)TAWARA	WEBサイト制作・運用
総 括 幹 事	松本 和也	(株)真和工業	建設業
運 営 幹 事	藤田 滉平	ICHIENT(株)	情報通信業
広 報 幹 事	岡田 佳那美	ちくし法律事務所	弁護士
委員	西中 孝太	(株)ウエスティンコーポレーション	不動産賃貸・売買・住宅型有料老人ホーム
委員	平山 優太郎	とくもとライフ	電解水素水・24時間風呂販売
委員	椿 陽介	さくらや	遺品整理・特殊清掃、不用品買取・処分
委員	木村 孝介	(有)丸伸造園	設計・施工・管理
委員	矢崎 沙織	ブライダルエステサロン専門店 ciel	エステ
委員	鳥部 隆史	(株)FNO	動画制作・マーケティング
委員	向 宏二郎	業建	塗装・防水
委員	奥膳 力昌	(株)西日本シティ銀行	銀行業
委員	小笠原 鉄人	ICHIENT(株)	アウトソーシング業・動画制作
委員	白坂 隆佑	(株)ROL	児童福祉事業
委員	レー ハイ ナム	油機エンジニアリング(株)	建設機械アタッチメントのレンタル・修理・販売、外国人人材紹介
委員	山下 優		

■まちづくり推進委員会

役 職	氏 名	勤務先	事業内容
委 員 長	味酒 安儀	太宰府天満宮	神職
副 委 員 長	安部 仰	福岡不動産リアリティ九州(株)	不動産業
副 委 員 長	江藤 大和	武石商事(株)	不動産管理、公衆温泉浴場・テニスコート経営
総 括 幹 事	片山 達哉	(株)エスブライト	飲食業
運 営 幹 事	小宮 拓也	(株)IORI	通信・物品販売、ソフトウェア設計・開発
広 報 幹 事	岩永 明浩	(株)ONE FOR ALL	施術業 鍼灸 整骨院
委員	林 大陽	(株)KIMCO	焼肉店
委員	藤澤 晃輝	SSGC(株)	自動車販売・買取
委員	新吉 隆大	(有)アメニティ21HD	飲食・製麺
委員	中山 慶太郎	defi group(株)	飲食業
委員	塚田 賢志郎	(株)塚田工業	建物解体、収集運搬
委員	坂井 俊介	(株)SBI新生銀行	銀行業
委員	市川 光太郎	ブルデンシャル生命保険(株)	保険外交員、FP
委員	藤田 悠也	(株)ファイブサービス	飲食業
委員	辻 良太	(有)辻塗装店	塗装、防水
委員	林 浩之	林公認会計士・税理士事務所	税理士事務所
委員	山崎 貴博	青木食産(株)	製造業

■ひとづくり推進委員会

役 職	氏 名	勤務先	事業内容
委 員 長	岡村 康平	(株)OTK	塗床工事・特殊下地処理工事
副 委 員 長	田中 幸起	(株)ネクストロード	清掃業
副 委 員 長	金子 直哉	田中亮一法律事務所	弁護士業
総 括 幹 事	松田 拓	(株)One's	建築業
運 営 幹 事	鎌田 仁	クリーンケイ	清掃業、建築業
広 報 幹 事	徳重 浩世	日本経済大学	教育
委員	高橋 俊基		サクソフォン演奏
委員	角 光樹	ラクラス・プレミアムホワイトニング	清掃業・美容業
委員	初井 毅	(株)M&C	印刷業
委員	田中 宏典	タナカ塗装	塗装工
委員	鬼木 海	(株)ダイスライン	代理店業
委員	山添 聖哉	(株)ZOOE／(株)GP	ZOOE：広告業、設備業 GP：宿泊業
委員	横田 薫	SCB	大規模補修工事
委員	廣末 将士	(有)セイブ歯研	歯科技工士
委員	玉木 海登	TMK	清掃業、モバイル通信事業

Member's List

●2025年度 一般社団法人つくし青年会議所 メンバー 一覧

■三役・直前・顧問・監事

役 職	氏 名	勤務先	事業内容
理 事 長	菊地 大介	樹きくち	梅ヶ枝餅の製造・販売
直 前 理 事 長	前田 健之輔	筑紫ガス(株)	都市ガス業
副 理 事 長	草場 亮介	(株)ディグナス／r-laboratory (株)	FP・総合保険代理店/IFA・資産形成サポート
副 理 事 長	井筒 康貴	(株)一新工業	管工事・空調設備業
副 理 事 長	青木 慎	青木食産(株)	製麺業
副 理 事 長	古川 真也	(有)お石茶屋	梅ヶ枝餅の製造・販売・飲食業
副 理 事 長	春本 光大	幸光技建(株)	新築・リフォーム・社寺建築・木工事全般
専 務 理 事	相川 雅俊	(有)前田商会	プロパンガス事業
常 務 理 事	吉田 健将	丸吉建設	建設業
常 務 理 事	古野 達也	(株)New Change／(株)ライフィノベーション	不動産業・解体業・造成業
監 事	波多江 祐介	福岡県議会／波多江レンタカー	県営全般・レンタカー業
外 部 監 事	森 俊輔	法律事務所アリスト	地域弁護士業
外 部 監 事	柿本 大一郎	(株)柿本建設	総合建設業

■総務・交流推進委員会

役 職	氏 名	勤務先	事業内容
委 員 長	山内 健太郎	筑陽石油(株)／(有)サンコー	ガソリンスタンド、建設業、人材派遣業
副 委 員 長	田村 政剛	(株)T.Office	外壁補修工事、Web制作、補助金申請サポート
副 委 員 長	江川 喬也	(株)ER Management	コンサルタント
総 括 幹 事	岩崎 一也	(有)ジュン・ロット	不動産業
運 営 幹 事	櫻木 大介	櫻木司法書士事務所・櫻木行政書士事務所	司法書士・行政書士
広 報 幹 事	中山 憲治郎	都造園 (株)	造園業
委員	水城 謙一	(株)水城製粉	製粉業
委員	市川 淳也	(株)西府堂本舗	ノベルティギフト・文具・お土産販売
委員	廣松 真太朗	(有)広松養魚場	川魚卸販売
委員	難波 晴紀	(株)日本パイプクリーニング	給排水管更生工事・洗管工事
委員	村田 智彦	ごう脳神経外科クリニック	作業療法士
委員	富屋 恵利加	青山地建(株)	開発営業
委員	山下 慎平	(株)リキユウ／(株)BELU s	内装工事業、空調設備工事業
委員	香月 健児	PsyberGraphics(同)	飲食業/デザイン業
委員	齋藤 洋平	ネストハウス(株)	不動産業、建築業
委員	花田 嘉基	(株)筑紫商会	建設業
委員	染井 拓童	(株)友心	遺品整理業
委員	大藪 梢	(株)アイティージェルバ	ウェブマーケティング

Greeting! from Next President

2025年は、人口減少や価値観の多様化、テクノロジーの急速な進展により、地域社会がこれまで以上に変革を求められた一年となりました。筑紫地区においても、行政・企業・教育機関・市民団体がそれぞれの立場で役割を模索し、協働による地域づくりへの機運が高まりつつあります。

つくし青年会議所は、創立以来、地域課題に向き合い続け、多くの運動を生み出してまいりました。2021年に設立50周年運動方針として掲げた「新しい地域経済をデザインする」という運動方針のもと、この5年間は行政・企業・教育機関・市民団体の皆様と共に、未来を主体的に創る人材とその挑戦を支える土壌の醸成に取り組んでまいりました。

2026年度は、その歩みの中間地点となる55周年目を迎えます。これまで築いてきた運動の成果を検証し、育まれたつながりをさらに前へと押し進め、来る60周年目につながる新たな運動を生み出す一年としたいと考えております。

2026年度、つくし青年会議所はスローガンとして「躍心」を掲げました。

「未来に希望を抱き、心を動かす体験から感動を得て、成長へとつなげていく」という想いを込め、自ら一步を踏み出し、仲間と共に挑戦し、その経験を新たな地域の価値へと昇華させていく姿勢を大切にしてまいります。

「躍心」とは、行動を生み出す内なる原動力です。一人ひとりが運動を通じて成長し、その運動がまた次の運動を生む連鎖を、この筑紫地区で生み出してまいります。それが、2026年度つくし青年会議所の使命であると考えています。

これまでつくし青年会議所を支えていただきましたすべての皆様におかれましては、引き続きご指導・ご鞭撻ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。2026年度を迎えるにあたってのご挨拶とさせていただきます。

●2026年度 スローガン



～「希望」・「感動」・そして成長へ～



2026年度 一般社団法人つくし青年会議所
第55代理事長予定者 春本 光大
《幸光技建（株）／2018年入会》

■くらしごと推進委員会

役職	氏名	勤務先	事業内容
委員長	丸山 稜太	(株)エスポート／丸山鉄筋(株)	不動産業、建設業
副委員長	山田 心介	鍼灸サロンBASE	整体、はり、メンズ脱毛
副委員長	高城 翔希	和やか(株)	リフォーム・外壁・屋根塗装
総括幹事	小山 真行	伯東寺	伝道
運営幹事	寺田 弘二	寺田建築	建築塗装
広報幹事	本多 賢臣	マニユライフ生命保険(株)天神支店	生命保険の案内、販売 採用活動
委員	密井 大虎	ビットテック(株)	解体工事・建設業・PC保守
委員	岸本 大樹	大名総合法律事務所	弁護士
委員	川廣 純也	赤坂協同法律事務所	弁護士業
委員	原竹 宏論紀	令和工業	防水工事
委員	林 駿之介	(株)八福住建	塗装業
委員	小松 星矢	Avant l'aube	外構植栽、店舗装飾、観葉植物、花全般
委員	齋藤 篤史	(合)クリート	リサイクル業
委員	永江 卓也	(株)TOMS	建築業・現場管理
委員	鶴田 涼太	(株)鶴翔工業	リフォーム
委員	川浪 将司	wasabi	飲食店
委員	萩尾 周平	A-team(株)	とび・土工
委員	下忠 隆介	(株)LIVENT	新築、リフォーム工事

■つくしJC会員育成委員会

役職	氏名	勤務先	事業内容
委員長	中川路 匠	(株)アイランドケア	医療・介護・福祉
副委員長	石堀 亮太	(株)トップサポートカンパニー	旅行代理店・医療関連
副委員長	梶原 翔太	(株)オフィスステーションカジワラ	文具・事務機器家具の販売及びデザイン、内装工事
総括幹事	真砂 慎太郎	(株)ネクステップ	総合不動産・建築業
運営幹事	江口 勇輝	青山地建(株)	不動産管理
広報幹事	城戸 春暉	KD商事	スクラップ・家電回収買取、貿易(建築消耗品)、エアコン取付工事
委員	中川 裕一郎	(株)中川組	土木工事
委員	中原 麻衣	(株)uptrade	水産業
委員	曲淵 大輔	(株)ADEO	飲食業
委員	志摩 幸政	(株)Beyond	鍵屋・ドローン空撮
委員	高木 義人	GROW-Tutoring School-	教育サービス
委員	宇都 宇宙	(合)宇宙企画	システム開発
委員	普久原 理	(株)ハルク	旅行業、特定技能外国人支援
委員	田中 沙弥	会員制せん	飲食業
委員	喜田 昌史	(一社)らいふ	放課後等ディサービス
委員	酒井 征志	(株)TAM	車両販売、整備

●2025年 卒業生紹介

氏名	入会日
波多江 祐介	2015年12月10日入会
古川 真也	2017年06月13日入会
村田 智彦	2018年10月15日入会
川廣 純也	2019年10月15日入会
木村 孝介	2020年03月19日入会
中川路 匠	2020年12月10日入会
岡村 康平	2021年07月13日入会

氏名	入会日
初井 毅	2023年06月15日入会
岩永 明浩	2024年04月16日入会
市川 光太郎	2024年09月13日入会
花田 嘉基	2024年12月09日入会
廣末 将士	2024年12月09日入会